



2026年2月26日
東日本旅客鉄道株式会社

TAKANAWA GATEWAY CITY

広域スタートアップエコシステムがさらに成長

高輪地球益ファンド100億円超に拡大／3,000人規模ビジネスイベント開催／LiSH会員150社に

- 東日本旅客鉄道株式会社は、TAKANAWA GATEWAY CITYにおいて、多様なパートナーとの共創を通じて「地球益※¹」の実現を目指しており、ヒト・多様なフィールド・ファイナンスが三位一体となった広域スタートアップエコシステム※²が成長しています。
- 高輪地球益ファンド※³では、新たに6社を出資者として迎え、100億円を超えるファンドに拡大しました。当社を含む合計11社の出資者で、スタートアップの成長を強力に支援していきます。2024年12月の高輪地球益ファンド組成以降、計10社の多様なスタートアップに投資を実行しました。
- 3,000人が来場予定のビジネス創造イベント「GATEWAY Tech TAKANAWA※⁴」を、2026年5月13日(水)、14日(木)に開催します。
- ビジネス創造施設「LiSH」では、会員企業が約150社となり、約50件の実証実験が進んでいます。2026年3月28日(土)には、「共創ROOM」を備えたStudio 3が開業します。

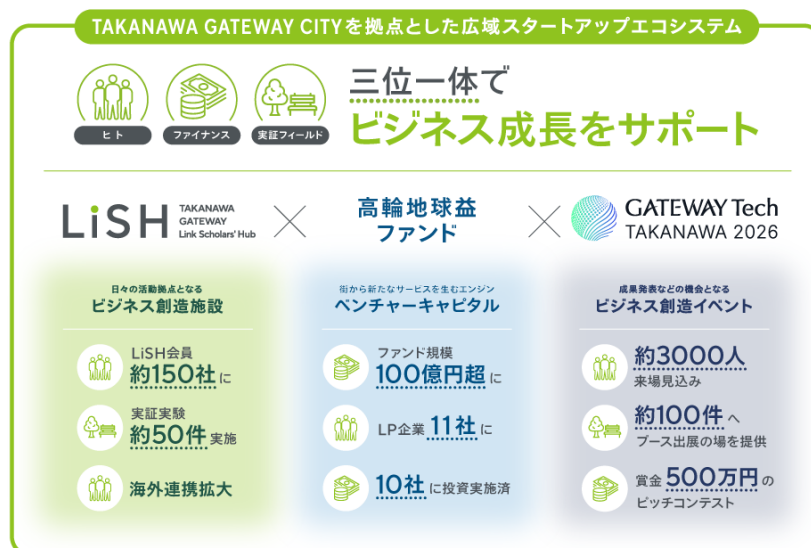
※¹ 地球に対する負荷が高いこれまでの経済活動を見直し、地球と人間が調和する利益を目指すこと。

※² TAKANAWA GATEWAY CITYを拠点とした広域スタートアップエコシステム：https://www.jreast.co.jp/press/2023/20240305_ho02.pdf

※³ 地球益の実現を目指し、ファイナンス面からも社会実装を支援するファンド：https://www.jreast.co.jp/press/2024/20241030_ho01.pdf

※⁴ TAKANAWA GATEWAY CITYを舞台に地球益の実現を目指す共創の祭典をコンセプトに、スタートアップや多様な企業、アカデミアやアクセラレーターが一堂に会し、1者では解決が難しい地球規模の社会課題解決を目指すイベント。

TAKANAWA GATEWAY CITYでは、100年先の心豊かなくらしにつながるビジネスの創造に向け、ヒト・多様なフィールド・ファイナンスが三位一体となった広域スタートアップエコシステムがさらに成長しています。



1. 「高輪地球益ファンド」が100億円超へ拡大

地球益の実現に資する新たなビジネス創造をファイナンス面から支援する「高輪地球益ファンド」は、ファンド規模を50億円から100億円超へ拡大しました。多様なLP企業※5が有するアセットを活用し、出資先スタートアップとの実証・共創を一層加速し、地球規模の社会課題解決に取り組んでいきます。

※5 LP (Limited Partner: リミテッドパートナー) とは、ファンドに対して資金を提供する投資家のことを指す。

(1) 出資企業 (LP企業) が11社に増加

既存の「株式会社秋田銀行」「芙蓉総合リース株式会社」「三菱UFJ信託銀行株式会社」「株式会社西武ホールディングス」に加え、新たに「株式会社大和証券グループ本社」「株式会社電通」「株式会社伊藤園」「株式会社JTB」「日鉄興和不動産株式会社」「TOTO株式会社」が高輪地球益ファンドに参画しました。当社を含め、LP企業は計11社となりました。

多様なLP企業の持つアセットを活用しながら出資先スタートアップとの実証をさらに加速させ、社会実装を目指します。共創を通じて、地球規模のさまざまな社会課題解決に取り組んでいきます。



(2) 新たにスタートアップ6社へ出資、出資先は累計10社に

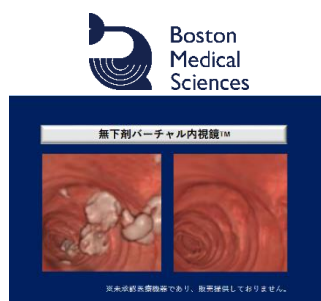
2024年12月の高輪地球益ファンド組成以降、積極的に投資検討を進め、これまで累計10件の出資を実行しました。TAKANAWA GATEWAY CITYの重点テーマである「環境」「モビリティ」「ヘルスケア」領域を中心に、街での実証実験やLP企業との共創可能性のあるスタートアップへの出資を通じて、地球益につながる事業の社会実装をファイナンス面からサポートしていきます。



(3) 出資先スタートアップとの共創が加速

今後開業するTAKANAWA GATEWAY Clinics Medical & Life Design Hubのクリニックでは、高輪地球益ファンド出資第一号であるBoston Medical Sciences株式会社が開発を進める、侵襲性の低い大腸がん検査システムについて、薬事承認後の導入を見据えた検討を行っています。

TAKANAWA GATEWAY CITYをはじめとしたJR東日本グループの多様なフィールドを舞台に、出資先スタートアップとの共創が始まっています。今後は、LP企業のアセットやネットワークも活用しながら、出資先スタートアップの成長に資する共創をさらに進めていきます。



内視鏡検査イメージ



大腸がん検査システム イメージ



TAKANAWA GATEWAY Clinics
Medical & Life Design Hub
イメージ

2. ビジネス創造イベント「GATEWAY Tech TAKANAWA 2026」開催

TAKANAWA GATEWAY CITYを舞台に地球益の実現を目指す年に一度の共創の祭典「GATEWAY Tech TAKANAWA 2026」の開催が決定しました。スタートアップをはじめ、多様な企業、アカデミア、アクセラレーターが一堂に会し、1者では解決が難しい地球規模の社会課題に対し、解決の糸口を見出すための新たなつながりと共創機会を創出します。そして、このたび2026年2月26日（木）より公式ホームページ上にてチケット発売を開始します。

（1）概要

名 称	GATEWAY Tech TAKANAWA 2026
開催日	2026 年 5 月 13 日（水）～14 日（木）
会 場	TAKANAWA GATEWAY Convention Center LINKPILLAR Hall 等
主 催	東日本旅客鉄道株式会社
参加方法	事前申込制（チケット購入）
公式ホームページ	https://www.takanawagateway-lish.com/gateway-tech/
SNS	公式 Facebook： https://www.facebook.com/share/1Zbx7W9WcV/?mibextid=wwXlfr 公式 X： https://x.com/gatewaytech_jp 公式 note： https://note.com/tokyoyard

（2）イベントコンテンツ

● CONFERENCE：ビジネストークセッション

地球課題の解決にむけたイノベーションの第一線で活躍する方々が登壇し、トークセッションやパネルディスカッションを開催します。

ノーベル化学賞を受賞された北川進特別教授の登壇が決定しました。

● TAKANAWA PITCH：ピッチコンテスト

地球益の実現に資する技術・サービスを持つスタートアップを対象に、街での実証実験も見据えた事業アイデアを募集するピッチコンテストを開催します。

● EXHIBITS：ブース展示

4 テーマ（①環境 ②モビリティ・ロボット ③ヘルスケア ④地域創生）を中心とする、社会課題解決への技術・サービスを持つ約 100 社の企業が最先端のソリューションを紹介します。

● DEMONSTRATION：実証実験エリア

最先端のソリューションを実際に体験できるコーナーをご用意します。アイデアやプロダクトを“動かし、試し、体験する”ことで社会実装に向けた一步をこの街から生み出します。



北川進特別教授



TAKANAWA PITCH



EXHIBITS

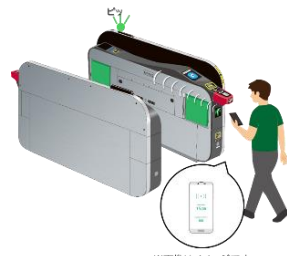


DEMONSTRATION

● TOUCHLESS EXPERIENCE：タッチレスな日常

UWB^{※6}を使用した「ウォークスルー改札」の体験会を実施します。タッチが必要ない“シームレス”な改札利用を体験できます。併せてUWBを利用したタッチレス決済について、Suica等で技術連携を行っているソニー株式会社による参考展示を予定しています。

※6 UWB（Ultra-Wide band）は高精度な位置測位などに特徴を持つ無線技術です。



※画像はイメージです
ウォークスルー改札イメージ



タッチレス決済イメージ

3. ビジネス創造施設「LiSH」の取り組みが拡大

世界一の実証実験型ビジネス創造拠点を目指す「LiSH」（TAKANAWA GATEWAY Link Scholars' Hub）は、2025年5月13日の開業以降会員数が着実に増加し、契約数が約150社となりました。

実証実験も10か月で累計約50件進んでおり、日々のイベントやマッチング等を通じた活発な交流が行われています。

● LiSH公式HP実証実験ページ：<https://www.takanawagateway-lish.com/projects/>

※本プレス参考別紙でも実証実験事例をご紹介します。

2025年5月 LiSH 開業から約10か月での実績			
会員数	実証実験	イベント	マッチング
約 150 契約	約 50 件	約 150 イベント ※ 2026年2日時点	約 350 マッチング ※ 2026年2月時点

さらに、2026年3月28日のTAKANAWA GATEWAY CITYのグランドオープンに合わせて、新たに「LiSH Studio 3」を開設。様々なタイプの個室に加え、2種類の共創ROOMを設け、MVPレベル^{※7}の実証実験から、オフィス利用者や来街者向けのデモンストレーションまで検証可能となり、会員のビジネス創造をさらに加速支援していきます。

同日には地域拠点第一弾となる「LiSH AKITA」も開設。秋田ステーションビル株式会社、株式会社地域みらいブレインリンクと連携し、地域課題解決に向けて地域イノベーターとともに秋田エリア活性化につなげていきます。

さらに、今後はグローバルアライアンスを強化し、スタートアップのインバウンド・アウトバウンドの支援を強化します。

※7 MVP (Minimum Viable Product) レベルは、最小限の機能を持つ初期バージョンのプロダクト。



LiSH Studio 3 共創 ROOM 1
体験展示 イメージ



LiSH Studio 3 共創 ROOM 2
MVP 実証実験 イメージ



LiSH AKITA イメージ

(1) ウェットラボの強みを生かした実証実験が進行

LiSH Labに入居する株式会社BIOTAは、街内のカフェのコーヒーかすを堆肥化し、ヒトと微生物が共生する未来を検証する実証実験をしています。山手線の駅直結の立地にウェットラボを備えているという強みを活かし、100年先の心豊かな暮らしの実現に向けてチャレンジするスタートアップを支援していきます。



LiSH Lab イメージ

(2) アカデミアとの連携も加速

東京大学発の睡眠テックスタートアップ、株式会社ACCELStarsのソリューションを、TAKANAWA GATEWAY CITY RESIDENCE内の共創型住居「Link Life Lab」に導入します。東京大学GATEWAY Campusを通じた連携を深め、最先端の知を持つアカデミアの技術を社会実装につなげていきます。



株式会社 ACCELStars の睡眠計測機器

(3) 実証実験支援プログラム成果発表会「LiSH FUTURE EXPO 2026」の開催

JR東日本社員からなるブリッジコミュニケーターが伴走支援し、開業以降累計約50件の実証実験が実施されている「LiSH」では、1社あたり最大300万円の実証実験費用を支援する「チャレンジプログラム」を開催し、15件が採択されるなど、会員企業の実証実験を、ファイナンス・フィールドに加え、マッチングの面からも支援しています。

そして3月18日（水）には、成果発表の場として「LiSH FUTURE EXPO 2026」を開催します。

- 開催日時：2026年3月18日（水）17:00～20:30
- 申込： <https://lishfutureexpo2026.peatix.com/>
- 参加方法：オンラインよりご視聴または会場「Link Lounge」

（港区高輪2丁目21-2 THE LINKPILLAR 1 SOUTH 8階）にてご参加いただけます。

※会場「Link Lounge」でご参加いただける人数には限りがございます。申込者多数の場合、オンラインでのご参加をお願いさせていただく場合がございます。

（４）海外パートナーシップが拡大

LiSHではグローバルスタートアップエコシステムの構築に向けて、海外のエコシステムビルダーとのパートナーシップを拡大しています。グローバルに展開するアカデミア、研究機関、ベンチャーキャピタル、アクセラレーターとパートナーシップを結び、連携を強化することより、国内外スタートアップのインバウンド・アウトバウンドを支援します。

【参考 1】

<高輪地球益ファンド 新規参画 LP 企業>

	株式会社大和証券グループ本社 大和証券グループは長年にわたりサステナブルファイナンスの普及・拡大に注力しており、その知見を活かしてスタートアップの持続的成長と社会実装を支援してまいります。また、多様なパートナーの皆さまとともに、「地球益」の実現と TAKANAWA GATEWAY CITY が掲げる「100 年先の心豊かな暮らしのための実験場」を活用した新たな価値創造に貢献してまいります。
	株式会社電通 私たちは顧客と社会の成長と活力を共に創り出すパートナーであることを目指しています。高輪地球益ファンドでは PoC や実装において、バリューチェーン全体を支援し、生活者や社会や企業へ、新しい価値創造と変革を推進してまいります。(出資：電通グループ)
	株式会社伊藤園 伊藤園グループは「健康創造企業」として、お客様の健康で豊かな生活と持続可能な社会の実現を使命としています。本ファンドへの参画および TAKANAWA GATEWAY CITY での取り組みを通じ、スタートアップとの共創による成長支援を進め、健康・ウェルビーイング領域を中心とした社会課題の解決と新たな価値創造を目指します。
	株式会社 JTB スタートアップおよび LP 各社との連携により、JTB グループの事業ドメインである『交流創造事業』に資する事業の立ち上げに取り組んで参ります。加えて、TAKANAWA GATEWAY CITY を舞台に、サービス提供・社会実装まで実現することで、社会課題の解決とスタートアップの成長に寄与することを目指します。
	日鉄興和不動産株式会社 当社は品川エリアに資産を保有する企業として、TAKANAWA GATEWAY CITY のプロジェクトに賛同し、協力することで広域品川圏の持続的発展に寄与したいと考えております。重点分野である「環境」「モビリティ」「ヘルスケア」は、当社の事業領域との親和性が高く、各分野における協業を通じて付加価値の創出や新規事業を共創し、社会課題の解決を目指してまいります。
	TOTO 株式会社 高輪地球益ファンドへの参画を通じ、TOTO が長年培った技術と新たな生活文化を創造してきたノウハウを、街全体を実験場とする広域スタートアップエコシステムに提供します。次世代のヘルスケアやサステナビリティの課題解決に共創し、「100 年先の心豊かな暮らし」という地球益の実現に貢献してまいります。

<高輪地球益ファンド 新規出資先スタートアップ>

	株式会社 aba ベッド設置型排泄検知センサー『ヘルプパッド』の開発・提供を通じて介護現場の生産性とケア品質の向上を目指しています。センサーが尿と便のにおいを検知し、おむつ交換のタイミングを通知する機能により、介護者は不要なおむつ交換や排泄物の漏れによる対応から解放され、高齢者に対しても自尊心や羞恥心に配慮したケアの実現につながります。aba は、2025 年 5 月に開催された TAKANAWA PITCH において TAKANAWA FUND 賞と PHD Lab.賞を受賞しています。
	株式会社エアメンブレ グラフェン製造における品質と生産効率を飛躍的に向上させる量産技術の開発を進めるスタートアップです。グラフェンおよび二次元材料の高導電性、高熱伝導性、柔軟性などの優れた特性を生かした製品を世に送り出し、エレクトロニクス、医療、環境、安全、情報通信分野において貢献することを事業目的に掲げ、基盤技術の創出に取り組んでいます。独自の製造プロセスにより、エネルギーの貯蔵・変換・制御に関わるデバイスの、より高い性能と環境適合性を実現するポテンシャルを有しており、エネルギー分野のみならず幅広い応用展開が期待されています。
	Anique 株式会社 アニメ・マンガ・ゲームなどの IP（知的財産）を軸に、作品の世界観とキャラクターの魅力を引き出すことに重心を置いたアイテム企画・制作やポップアップ企画ならびにファン体験の創出に取り組むスタートアップです。IP ホルダーとファンを直接つなぐ独自のプラットフォームとクリエイティブ力を通じて、リアル・デジタルの両側面から新しい体験価値を創造することで、世界中のファンに新しい体験を届けることに挑戦しています。
	スカイファーム株式会社 大手商業施設が求める複数テナントを一元的に管理できる商業施設専用オーダーマネジメントシステム「NEWPORT」の提供を通して、「人手不足対応」「ポイント連携」「店舗を跨いで購入できる」などを実現することで、飲食業界における顧客接点の DX 化を促進し、オペレーションの煩雑さや慢性的な人手不足といった課題解決を目指しています。TAKANAWA GATEWAY CITY でもロボットデリバリーでの連携に「NEWPORT」を導入しています。
	株式会社スマート修繕 マンション等の大規模修繕工事における見積取得・比較選定、工事会社紹介、施工後のサポートに至るまでを一貫して提供する修繕支援サービスを展開しています。独自の見積データベースとプロのコンサルタントによる支援により、修繕工事に関わる情報格差の是正・透明性の向上、管理組合や住民の不安・不信感の解消に寄与し、工事の見積や施工プロセスにおける透明性と適正性を提供することを目指しています。
	Terraton Industrial Inc. 独自のプラットフォームを通じて、バイオ炭による炭素除去を拡大する US スタートアップです。現在、気候変動対策として、大気中の CO2 を除去する炭素除去技術の需要が世界的に高まる中、バイオ炭は実績のあるスケーラブルな手法として注目されています。Terraton は、農業関係者が小規模投資で信頼性の高いバイオ炭施設を導入できるようになり、カーボンクレジットの販売を通じて新しい収入の柱を作る未来を目指しています。

< 高輪地球益ファンド出資先と進行中の共創事例 >

Boston Medical Sciences 株式会社

大腸がんの予防と早期発見を目指した疾患啓発活動

誰一人、大腸がんで亡くならない世界へ

一般向けのイベント等で大腸がんのリスク因子や早期発見の重要性について情報発信することで、大腸がんや予防法の認知向上に努め、検診に向かう行動変容を後押ししていきます。

目指す未来：侵襲性の低い大腸検査システムを社会実装することで、世界から大腸がん死を根絶します。

今後の展開：地域のがん予防の拠点として、負担の少ない大腸検査の普及・啓発に取り組んでいきます。

参考リンク：<https://b-ms.tech/>



画像提供：Boston Medical Sciences 株式会社

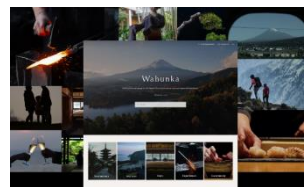
J-CAT株式会社

青森エリアにおけるインバウンド向け高付加価値コンテンツの造成

青森の文化と自然を至高の体験へ

青森エリアの文化・自然・食を題材に、インバウンド向け高付加価値コンテンツの造成を進めます。地域事業者と連携した各種体験により、同地域の新たな旅の魅力創出を図ります。

参考リンク：<https://wabunka-lux.jp/>



画像提供：J-CAT株式会社

株式会社ATOMica

LiSH運営に参画し、コミュニティマネジメントで共創をサポート

独自のコミュニティ運営で、LiSHから世界的な共創を生み出す

常駐するコミュニティマネージャーが会員の「願い」を引き出し、最適な出会いを創出。対話を通じた関係性構築により、イノベーションが自律的に生まれる環境を実現します。

目指す未来：多様な知が交わるLiSHから「頼り頼られる関係性」を広げ、地球益の実現に貢献します。

今後の展開：全国の拠点ネットワークとLiSHを繋ぎ、都市と地方を循環する共創エコシステムを築きます。



画像提供：JR東日本

スカイファーム株式会社

モバイルオーダー x ロボット配送による次世代型街づくりの実証

人とロボットが共生する街・高輪の新しいお買い物体験

街の中の商業施設等の商品をスマホから注文、配送ロボットがお届けする、デリバリーサービスの中核となる注文システムを開発し、サービス運営にも携わっています。

目指す未来：「人とロボットの共生」を実現するべく、街・店舗・人・ロボットを繋ぐハブとなります。

今後の展開：TAKANAWA GATEWAY CITY RESIDENCEまでの拡張及び取扱商材を拡大し、より日常に溶け込むサービスへ。

参考リンク：<https://sky-farm.co.jp/news/jreast>



画像提供：スカイファーム株式会社

株式会社aba

介護の願いを叶える“ねかいごと”—— 大切な人と過ごす願いのHOTEL

「ただただ、一緒に暮らしたかった。」ある家族の、介護の願い一人ひとりの思いを叶えたルームを備える「ねかいごとHOTEL」のコンセプトをギャリースペースに展示。来場者が求める介護の願いを深掘るとともに、介護に対するさまざまな願いである「ねかいごと」を探ります。

目指す未来：家族と一緒に泊まりたい。家族にとって手放したくない願いを叶えていきます。

今後の展開：介護の願いである“ねかいごと”を集め、それを共に叶える仲間や資金を募ります。



画像提供：株式会社 aba

< LiSH会員による実証実験の事例 >

株式会社アグリノーム研究所

ロボット巡回による植栽の自動診断実証実験

緑を守るスマートロボット、TAKANAWA GATEWAY CITYを巡回！四足歩行ロボットが自律巡回し、センサで植物の生育やストレスを可視化。バイオスティミュラント剤の散布判断等、データ駆動な未来型の管理システムを設計・検証します。

目指す未来：ヒトとロボットが協働して緑を守る、慈愛に満ちた近未来都市を創ります。

今後の展開：TAKANAWA GATEWAY CITYから、渋谷・上野をはじめ、展開領域を一層拡大させていきます！

参考リンク：<https://agrinome.jp/news/3145759.html>



画像提供：株式会社アグリノーム研究所

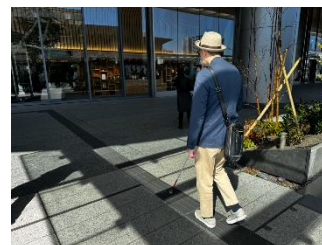
株式会社Ashirase

視覚障害者向けの移動サポートに関する実証実験

視覚障害者の自由な移動を目指して-支援技術の可能性を探る-視覚障害のあるお客様がナビデバイス「あしらせ」と遠隔サポートサービスを使い、高輪ゲートウェイ駅前からニューマン高輪店舗までシームレスに移動できるか検証しました。

目指す未来：視覚障害者が、屋内外問わず行きたい場所へ自由にアクセスできる未来を創造します。

今後の展開：対応フロアや対応建物を増やした実証も行い、ナビゲーション領域を拡張していきます。



画像提供：株式会社Ashirase

株式会社BIOTA

都市の資源を微生物と共に循環させる「高輪堆肥™」

コーヒーかすの堆肥化を通じた、微生物との共創可能性を探る街のカフェから提供いただいたコーヒーかすを堆肥化し、リアルタイムセンシング技術を用いることで微生物の分解活動を可視化しました。

目指す未来：コーヒーかすを用いて、人と微生物が関わり合う新たなライフスタイルの可能性を検証します。

今後の展開：得られた堆肥は外構部の植栽等に用いることで、まちを豊かにする「資源」として地域循環を目指します。

参考リンク：<https://biota.city/>



画像提供：株式会社 BIOTA

株式会社Essen×ゲキダンイイノ合同会社

モビリティ広告効果検証プロジェクト

人と街をつなぐ「メディア」-モビリティの新たな可能性を探る-自動走行モビリティ「iino」による広告効果を、Essenの広告効果評価の仕組みにより検証し、モビリティ広告の告知メディアとしての有効性が確認できました。

目指す未来：「モビリティ」×「データ分析」で人と街に新しい出会いが生まれる未来を創造します。

今後の展開：分析対象を広げることで、TAKANAWA GATEWAY CITY全体の回遊性の評価も可能になります。

参考リンク：株式会社Essen：<https://www.essen-withdrive.com/>
ゲキダンイイノ合同会社：<https://gekidaniino.co.jp/>



画像提供：ゲキダンイイノ合同会社

株式会社GET BACK

ウェブカメラ顔映像でPC作業姿勢を推定する「背骨計」の検証

PC作業の姿勢を見える化、働くひとの背骨を美しく健康に

日常のPC作業中に「背骨計」アプリを動作させることで、「背骨計」の使用感はどうか、業務中の姿勢や体の痛みなどにどのような影響を与えるかを検証しました。

目指す未来：姿勢を見える化し、働くひとが美しく健やかでありつづけられる未来を創造します。

今後の展開：「背骨計」の使用により、実際に姿勢や体の痛みなどが改善するかを拡大検証します。

参考リンク：<https://get-back.jp>



画像提供：株式会社 GET BACK

浜松市×HarvestX株式会社

イチゴ自動栽培による次世代都市型農業モデルの構築

日本のおいしいイチゴがいつでも、どこでも、誰でも

HarvestXのイチゴ自動栽培ソリューションを用いた都市型農業の実証実験を実施します。環境データ等をリアルタイム収集・可視化しながらイチゴを試験栽培をします。

目指す未来：今ある豊かな食や食文化を次の世代に継承します。完全自動栽培を実現します。

今後の展開：JR東日本×HarvestXで都市型農業の追求や地域との連携を深めていきます。

参考リンク：<https://harvestx.jp>



画像提供：HarvestX 株式会社

インテグリカルチャー株式会社

「細胞を元気に育てる成分」の飲料開発検証と受容性調査

未来の食文化を創る、細胞を元気に育てる成分を味見しよう！

食べられる原料だけで元気に細胞を育てて資源を生産する技術を身近なドリンクにして、細胞農業の社会実装に向けた受容性と継続的な飲用評価を検証します。

目指す未来：細胞農業を身近な資源に、100年先も健康で元気に暮らせる世の中を創造します。

今後の展開：関係企業等へテスト範囲を広げ、実社会での市場性と効果実感を拡大検証していきます。

参考リンク：<https://integriculture.com/>



画像提供：インテグリカルチャー株式会社

Intellect Japan株式会社×株式会社アイシン

新型メンタルヘルス支援システムの社会実装

メンタルヘルスケアの新たなスタンダードを作る

従来のEAPアプリ(Intellect)に蓄積ストレス測定機能(アイシン)を付け加えました。モニタリング効果によるストレス状態の改善と、セルフケアサービス、そのほか外部サービスの利用促進効果を検証します。

目指す未来：客観的にストレス状態を把握し、最適なセルフケアやサービスを受け、いつでも最高の状態の自分でいられる新しい健康社会の実現。

今後の展開：BtoB、BtoCでの商用化を目指します。

参考リンク：<https://jp.intellect.co/>



画像提供：Intellect Japan 株式会社

株式会社コシダテック

健康管理AI「Syd(シド)」による栄養学に基づく食事提案

あなたの最適な健康状態のため、AIがパーソナライズされた最適な食事を提案

独自のデュアルブレインAIを搭載した「Syd」が、利用者の健康状態を分析し、ローソンメニューを含む最適な食事を提案。「食」から高輪の生活の質向上を検証します。

目指す未来：科学論文×高度なAI技術により、10億人のライフクオリティ向上を目指します。

今後の展開：人々の生活を「改善」することを軸に、グローバルな健康増進を推進していきます。

参考リンク：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000021.000146565.html>



画像提供：株式会社コシダテック

株式会社メタジェン

働きながら健康習慣・腸内環境ラボ

腸内環境について「学んで・食べて・気づきを共有する」

事前セミナー、検査、アンケートで意識の変化を可視化し、座談会で気づきを共有します。無料ランチを通じ腸活の習慣化を検証する、高輪ワーカー向けの実証プログラムです。

目指す未来：個々人の腸内環境に合ったヘルスケアを当たり前にし、病気ゼロ社会の実現を目指します。

今後の展開：健康経営を通じて腸活をより身近にし、腸内デザインを推進します。



画像提供：JR 東日本

株式会社MiaLuce

「健康を見える化、大切な自分の健康と向き合う」コミュニティ型実証実験 高輪ゲートウェルネス部

～Fitbit×生活記録×専門家・がんサバイバーによるセミナーで健康を可視化し生活習慣を育てる1か月間の実証実験～

Fitbitと予防CureMindによる健康データ記録、専門家や第一三共ヘルスケア社と共催セミナーを組み合わせ、健康データを可視化し行動変容と生活改善効果を検証するウェルネス実証。

目指す未来：健康寿命100年の未来を見据え、がん予防から罹患後までを支えるエコシステムを構築。誰もが、がんで苦しまない未来へ。

今後の展開：生活習慣の行動変容やがん検診受診完了因子を探索する拡大検証をしていきます。

参考リンク：<https://mialuce.amebaownd.com/>



画像提供：株式会社 MiaLuce

リジェネソーム株式会社

低酸素環境が人の自律神経、集中力、疲労回復に与える影響を検証

老化に立ち向かう「低酸素環境×新しい働き方」

酸素濃度を安全限界とされる18%以上に制御した常圧低酸素環境が、人の自律神経、集中力、疲労回復に与える影響を検証します。

目指す未来：低酸素空間「ロンジェビティールーム」を一般的なオフィス空間や住宅へ社会実装することを目指します。

今後の展開：オフィスや家庭で日常的に「常圧低酸素環境」が存在し、そこで過ごすだけで無意識に健康を維持・増進できる社会インフラを作っていきます。

参考リンク：<https://regenesome.com/>



画像提供：リジェネソーム株式会社

株式会社Teraform

高輪エリア都市緑化における土壌環境改善型「SuperSponge」活用実証実験

「水だけでなく、土壌から変える。」都市の緑を支える、新しい土壌インフラ

植物の根のまわりで水分を安定して保つ機能を有するSuperSpongeの活用により、都市部の限られたスペースでも植物が育ちやすい土壌環境づくりができないか、検証します。

目指す未来：持続可能な都市緑化の新しいモデルの確立。

今後の展開：都市緑化における「水を与え続ける管理」から「土壌環境を整える管理」への転換を促す技術として、国内外への展開も視野に入れています。

参考リンク：<https://teraform-inc.com/>



画像提供：株式会社 Teraform

東洋製罐グループホールディングス株式会社

アマモ再生プロジェクト ― 海藻増殖材による育成の実証

海のゆりかごを、もう一度。

東洋ガラス（当社グループ）と不動テトラが共同開発した藻類増殖材「イオンカルチャー」を活用し、環境移送ベンチャーのイノカと連携し、アマモの育成比較を行っています。

目指す未来：震災や環境変化により減少したアマモ場を再生し、海の生態系と人の暮らしが調和する未来を取り戻します。

今後の展開：本実証で得られた知見をもとに沿岸部での実装可能性を探ります。

参考リンク：https://www.tskg-hd.com/news/detail/20250901_newsrelease.html



画像提供：東洋製罐グループホールディングス株式会社

uHoo Pte Ltd

施設における室内環境データ活用に関する実証

室内環境データで、ウェルビーイングと生産性の可能性を探る

コワーキングスペースおよび居住施設にuHooを導入し、室内環境の可視化を通じて、快適性やウェルビーイング、持続可能な施設運営への活用可能性を検証しています。

目指す未来：室内環境データを活用し、ウェルビーイング・生産性・持続可能性が調和する空間づくりと、データに基づく施設運営。

今後の展開：得られたデータや知見をもとに、実運用への展開可能性や活用モデルの構築に向けた検討を進めます。

参考リンク：

<https://getuhoo.com/jp/blog/press-release/uhoo-partners-with-jr-east-group-on-indoor-environment-data-project/>



画像提供：uHoo Pte Ltd

株式会社WAKU

都市土壌に蓄積する微量重金属の低減

見えない環境負荷を科学で抑制

都市土壌に蓄積する重金属の実態を把握し、独自技術による低減効果を科学的に検証していきます。

目指す未来：土壌の重金属可吸態リスクを科学的に抑制する社会基盤の構築。

今後の展開：工事現場等で発生する重金属の低減についても、今後取り組んでいきます。

参考リンク： <https://wakuwakudriven.com/>



画像提供：株式会社 WAKU

【参考 2】

< 「TAKANAWA GATEWAY CITY」のまちづくり概要 >

品川開発プロジェクトの一環として、江戸の玄関口としての役割を担った歴史的背景および国内初の鉄道が走った地におけるイノベーションの記憶を継承し、開発コンセプトに「Global Gateway」を掲げ、「100年先の心豊かなくらしのための実験場」として新たなビジネス・文化が生まれ続けるまちづくりに取り組んでいます。

そして、まちづくりを進める中で出土した高輪築堤は、国指定史跡の第7橋梁部および公園部の現地保存・公開（2027年度予定）に加え、信号機土台部の移築保存・公開や先端技術を活用した展示、街のランドスケープ等での保存・活用を通して、日本で初めて鉄道が走ったイノベーションの地としての記憶を、次の100年に継承していくことにより、地域の歴史的価値向上に努めていきます。

2025年3月27日には、THE LINKPILLAR 1が開業し、高輪ゲートウェイ駅が全面開業しました。その他の棟（THE LINKPILLAR 2・MoN Takanawa: The Museum of Narratives・TAKANAWA GATEWAY CITY RESIDENCE）および各棟周辺エリアは2026年3月28日（土）にグランドオープンを迎えます。

今後続くTAKANAWA GATEWAY CITYおよび品川駅周辺エリア（品川駅北口駅改良・品川駅街区）のまちづくりと一体となった価値向上に向けて、品川開発プロジェクトを推進していきます。

公式ウェブサイト (<https://www.takanawagateway-city.com>)

